

# 人間発達学部

教養部会教授 安藤 淑江

## 1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
論文 征夷の物語としての『陸奥話記』一頼義の「將軍」呼称をめぐって一	2011. 3. 22	名古屋芸術大学紀要 32巻	平安中期、東北の俘囚の長安倍氏は朝廷の命に従わず栄花を誇っていたが、源頼義を「將軍」とする朝廷軍に滅ぼされた。その顛末を語る『陸奥話記』の読解を通してその叙述の不自然さを明示し、物語を「征夷の物語」として構成するための表現上の作為を明らかにした。

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 文学 ◆前期 ◆後期 工夫の概要 学生の考える力の成長を目指して、難解でない文学作品を自らの力で読解できるようになることを目標に、授業を展開した。授業中の発言を重視し、とりまとめて統一的な作品論に仕上げていくことで、受け身でない、考え参加する授業の実践を目指した。	
教材・資料等の概要 左の目標を達成するための適切な作品の選択・配布。学生が自ら考えることを援助するワークシートの作成を行った。また、学生の考えをまとめ、作品論として「文章化」することを手助けする教材も用意した。	
授業科目 文化史 ◆前期 <input type="checkbox"/> 後期 工夫の概要 講義の中で、各地の伝統芸能の実例の中から古態を存するもの、あるいは復元の試みの映像をピックアップして見せている。記録しか残らない古代の芸能の歴史を具体的なイメージの中で再現すると共に、学生の音楽的・美術的体験の幅を拡大できるよう工夫している。「クイズ」を用意し、学生の関心をひく工夫もした。	
教材・資料等の概要 授業の概要をより確実に理解することを目標に、わかりやすい教材の作製を行っている。教材は毎年更新している。集中力が低下して説明箇所がわからなくなりがちな学生への対応を考慮して、本年度はPowerPointによるスライドに変更した。	
授業科目 教養講座（人間） <input type="checkbox"/> 前期 ◆後期 工夫の概要 授業内での体験・作業・練習を積み重ねていく事を通して、「変体仮名」が読めるようになり、日常使う文字である「仮名」の歴史を体験的に修得できるように授業展開している。	
教材・資料等の概要 授業でも有効に活用でき、欠席者には自習も可能な教材を作製している。教材は毎年更新している。学生には欠席した場合でも必ず自習し提出を求めることで、所期の効果をあげている。	

### 3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
中世文学会		会員
解釈学会		会員
日本文学協会		会員
軍記と語り物研究会		会員
名古屋大学国語国文学会		会員